

学校教育目標	志高く「凜として」生きていく生徒の育成
育成を目指す資質・能力	「探究」をキーワードに、「学びに向かう力、人間性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の3観点をバランスよく育成することを目指す。

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・いずれの教科とも平均正答率は全国平均を上回っているが、一部(国語の我が国の言語文化に関する事項、数学のデータの活用、理科の粒子の領域など)の問題において、全国正答率を下回る問題がある。	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 生徒質問紙においては、概ね全国のポイントより高くなっているが、話し合い活動における質問項目では、全国平均を下回る設問がある。
	<b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b> ・コロナ禍のため、グループ学習を制限した影響もあり、人間関係をつくりにくい状況が見られる。 ・自分の考えを全体の前で表現できる生徒が少ない。 ・話し合い活動が答えを出すためにものになっていて、学び合いにつながる話し合いができていない。	
指導の状況	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> ・「上中スタンダード」の学習規律、学習環境については実践できている。 ・各教科で「主体的な学び」を促す指導方法の工夫改善について取り組んでいる。 ・「学び合い」について授業改善に取り組んでいる。  <b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> ・基礎・基本を中心としたプリント集を使って、基礎・基本の定着を図る取組を実施している。 ・学力の個人差を減らすために、昼休みや放課後に質問教室等、個別指導を行っている。 ・ICT等を活用して班活動を工夫しようとしている。	

学力に関する達成指標

- ・各種学力調査ですべての教科で平均点や正答率を全国平均以上や県平均以上を目指す。
- ・定期テスト等で正答率80%以上の生徒の割合25%以上、40%未満を8%以下を目指す。
- ・「学び合いが自分の考えの再考につながった」生徒90%以上を目指す。
- ・課題の提出率90%以上を目指す。

